

蘇州横浜タイヤ有限公司 CSRレポート

事業内容: トラック・バス用タイヤの製造販売
敷地面積: 79,000m²
従業員数: 約400人(2010年度末)
所在地: 中国 江蘇省蘇州高新区華橋路158号

相談・苦情などの受付窓口:

管理部 TEL: 0512-6818-1008 FAX: 0512-6818-1007
 メールアドレス: shi.wei@mta.yrc.co.jp



社長ご挨拶



中野 茂

ISO26000の規格の主旨は「社会的責任の取り組みにおいて最も重要な目標は持続可能な発展への貢献を最大化すること」です。つまり、時代の変化を常に注視し、社会、関係者、関係企業等に対して、責任ある行動を常にとり続けていくことが使命と考えています。そのためにも自社の課題を時々刻々見つめ、課題解決を進めていきます。

環境経営の推進

環境マネジメント

環境にやさしい企業となるため、法定基準値はもちろんのこと、自社目標を達成しています。

環境データ

項目		2009年度	2010年度
廃棄物	発生量(t)	504.0	431.4
	埋立率(%)	0.0	0.0
エネルギー使用量 (原油換算:k)	電力	4,165	4,932
	燃料	2,020	2,325
	合計	6,185	7,257
温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)		13.0	15.3
水使用量(千m ³)		92	149

※年度: 1月~12月

※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。

化学物質の管理状況についての報告 (PRTR法への対応)

ISO14001(2011年2月取得)の体系に基づき、的確に管理しています。

騒音、振動、臭気について

ISO14001(2011年2月取得)の体系に基づき、的確に管理しています。

安全健康な職場環境

労働安全衛生 (安全衛生方針、安全衛生への取り組み)

標語 : あなたの安全は家族の幸せです。

方針主旨 : 全従業員の安全と健康を確保することが、企業運営の基本との認識の下、労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)の認証取得活動を通じ、特に一対一教育を重要視し、まずは災害ゼロそして危険ゼロを最終の目指す姿としています。

従業員の教育・訓練

毎日の体操をはじめとして、危険予知訓練、安全器点検、班長による一対一指導、職場ごとの公開演習、そして月一回の職場ごとの分科会報告、総経理(社長)による全体安全衛生教育を実施しています。

災害時の対応

けが : 職場ごとの災害救助訓練(毎月)

火災地震等 : 年一回の全体訓練

上記の活動を通じて、実際の災害対応に備えています。



製品・サービスの安全と品質

消費者とのコミュニケーション

当社の顧客は自社販社であるため、最終消費者との直接対話は基本的にはありませんが、セールスマンとの情報交換会を月に一回実施し、コミュニケーションをとっています。

苦情などへの対応

販社を通じて頂戴したクレームに、適時、書面を通じて回答をしています。



人権・労働慣行

従業員への人権教育

現在は従業員への人権教育は実施していませんが、月度の総経理朝礼の中で周知徹底するように計画しています。

障がい者雇用の推進

法律で定められた1.5%を超える7人の方を雇用しています。

取引先とのかかわり

取引先への人権配慮を求める取り組みについては、関係者を集め、周知徹底するように計画しています。



取引先との信頼関係

汚職に関する方針

横浜ゴムグループ社員「行動規範」を遵守します。

- (1) 社会的に有用な商品、サービスの提供、お客様の満足と信頼の獲得
- (2) 公正、透明、自由な競争、適正な取引
- (3) 企業情報の公正の開示
- (4) 従業員のゆとりと豊かさを実現
- (5) 環境問題への積極的取り組み
- (6) 「良き企業市民」として
- (7) 会社の財産、情報の保護管理
- (8) 国際協調、現地の発展に貢献

取引先とのコミュニケーション

取引先からの要望や意見の収集については、現在、個別での対応となっており、体系化はされていません。今後、体系化をしていく予定です。

関係者を集め、法律、中国事情等を説明し、教育をしています。



ステークホルダーコミュニケーション

地域社会とのかかわり

2012年の秋の植樹祭に向け、2008年より毎年、どんぐり拾い、苗の作製を進めています。

現在、13,000本が準備されています。

工場見学・説明会のご案内

工場見学や説明会は、管理部で随時受け付けています。